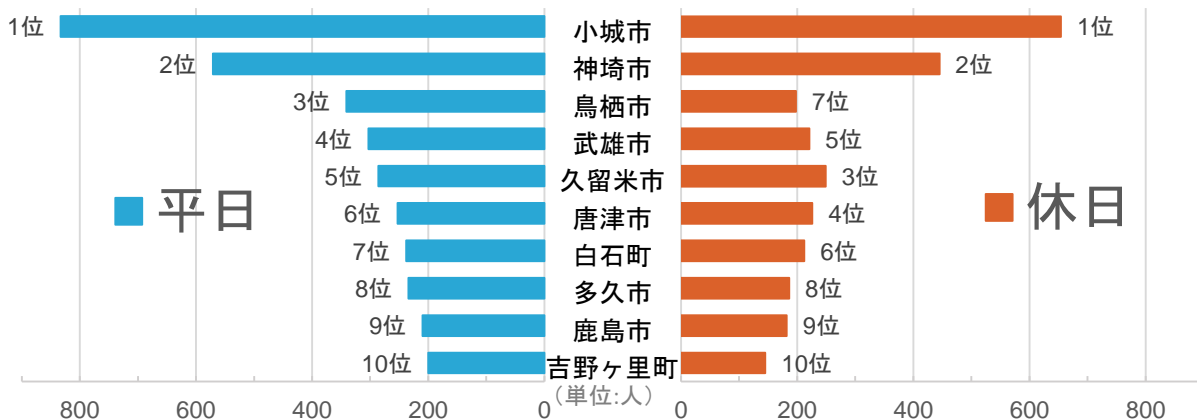


街なかの日常を探ってみた！？

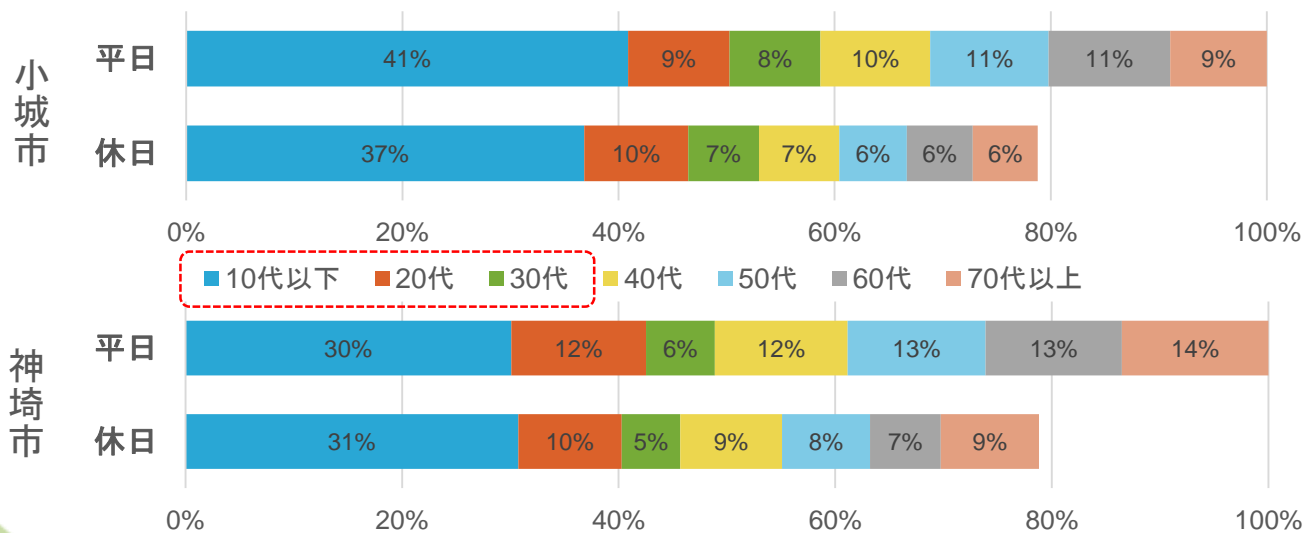
街なかの来訪者※1はどこから来ているの？

Q.平日と休日の来訪元ランキングはどうなっているの？



典拠：ヤフーデータリサーチ DS.INSIGHT(2023.1月～11月)の来訪元データ平均値

来訪元1位は平日・休日ともに「小城市」、2位は「神崎市」になっています。全体的には、平日と比べて休日の来訪者が少ない傾向にあります。平日の来訪者の約8割は、佐賀市の街なかに訪れているようです。



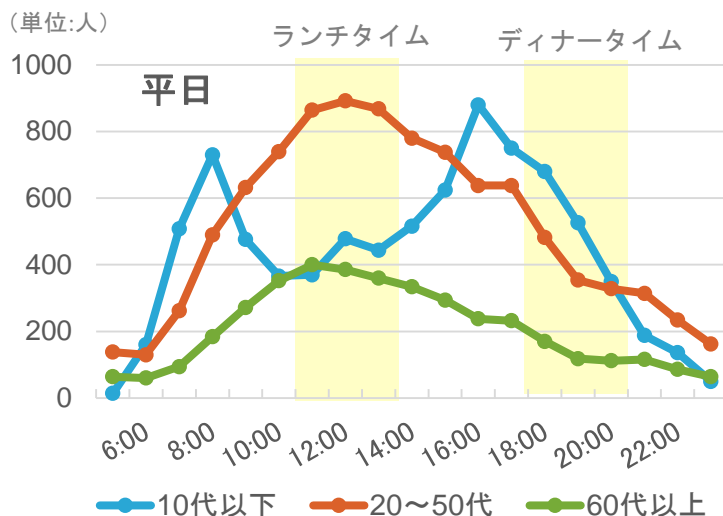
典拠：ヤフーデータリサーチ DS.INSIGHT (2023.1月～11月)の来訪元データ平均値

上図のように「小城市」「神崎市」からの来訪者は、30代以下が半数を占めています。そして30代以下の人は休日も同じくらいの割合で佐賀市の街なかに訪れているようです。小城・神埼エリアに広報展開を検討される場合は、30代以下の若者やファミリー層向けに流行りのInstagram等のSNSを活用して広告を発信してみてもいいかもしれません。

※1 来訪者：佐賀市以外に住居があると推定される人のうち、中心市街地内に滞在していた人口です。

平日と休日で来訪者の動きに違いはあるの？

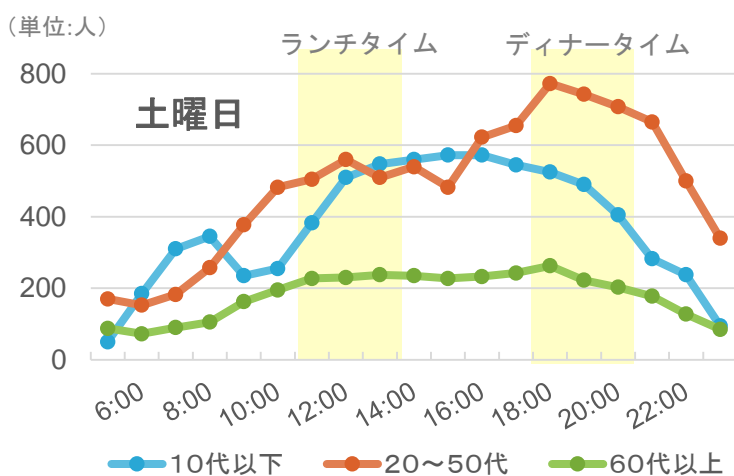
Q.平日の動きはどうなっているの？



10代以下は通学中に街なかを通過していること、20～50代の多くは日中滞在していることから、仕事で来訪していることが推察されます※2。

60代以上も平日は来訪者が多く、10時から12時頃にかけて増加し、ランチタイム以後ゆるやかに減少しています。比較的時間に融通が利くと想定される60代以上の人をターゲットに、少し早い時間帯からランチ営業を始めてみても良いかもしれません。

Q.休日の動きはどうなっているの？



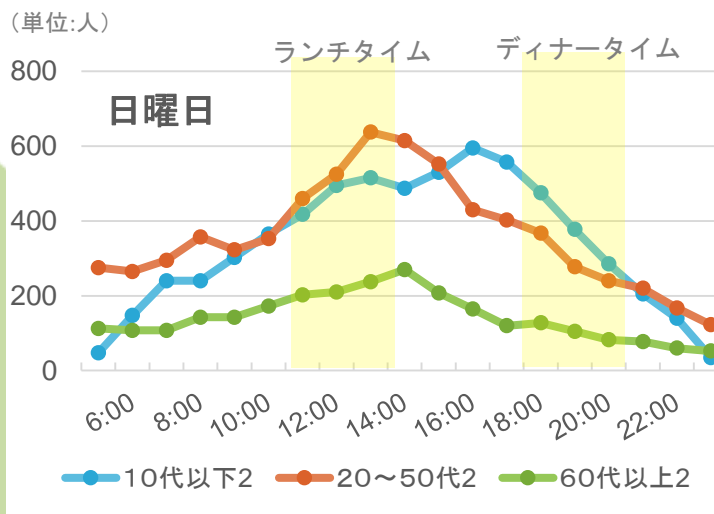
休日は全体的にランチタイムにかけて街なかに足を運ぶ人が多いようです。

また、20～50代は土曜日に夜の街なかを楽しんで、日曜日はランチタイムをピークとして、早めの時間帯から帰途につく人が多いようです。

一方、10代はランチタイム以降も夕方にかけて増加しており長い時間街なかに滞在している傾向がみられます。学生が勉強や部活等の合間に小腹を満たすことができるテイクアウトメニューは需要があるかもしれません。

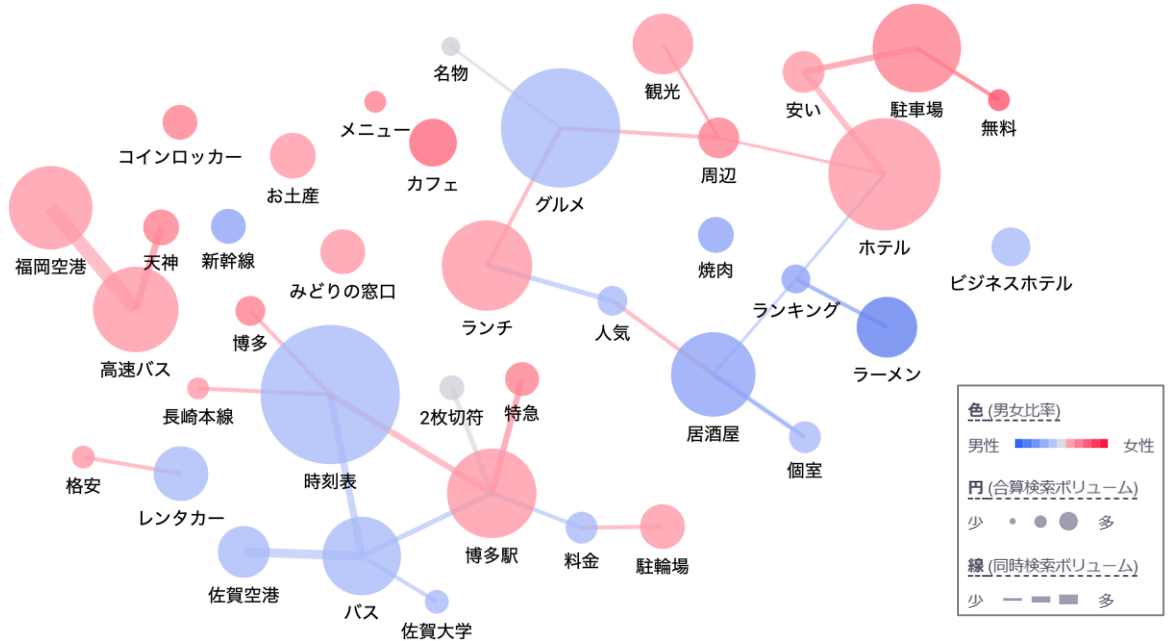
※2 10代以下を学生層、20代～50代を就業者層、60代以上を高年齢層として考察しています。

典拠：ヤフーデータリサーチ DS.INSIGHT
人口推移データ(2023.10月)平均値



来訪者はどんなことに興味関心を持っているの？

Q.来訪者は街なかで何を検索しているの？



典拠：ヤフー・データリレーションDS.INSIGHTの「佐賀駅」共起キーワード(2022年)。個店名は削除

「佐賀駅」と一緒に検索されているキーワードです。駅周辺のグルメ（ランチ・居酒屋）がよく検索されていることがわかります。女性はランチやカフェを、男性はラーメンや焼肉を検索しており、男女の嗜好の違いが良くわかります。駐車場についても良く調べられており、駐車場のある店舗はそれを強調すると良いかもしれません。

SAGAスマート街なかレポートとは

SAGAスマート街なかレポートとは、佐賀市の街なか活性化に役立つ情報をさまざまなデータをもとに分析し提供するものです。どんな要因によって街なかの人の流れが変わるのか？消費行動は？など、ビッグデータからヒントを導きだします。

一般社団法人地域デザイン総合研究所と佐賀大学学生のチームでレポートを編集しています。

レポートに関するお問い合わせ

一般社団法人地域デザイン研究所 (株式会社ローカルメディアラボ内)
TEL: 0952-97-9605 E-MAIL: info@lm-labs.com